



たらま

平成 26 年

8 月号

平成26年 8月1日発行

No.485

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



スイカを穫るどー エイエイオー

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan

第1回 多良間村介護福祉施設検討委員会 委員に委嘱状交付



2014年7月11日多良間村（伊良皆光夫村長）は、多良間村介護福祉施設検討委員会を設置し、委員ひとり一人に委嘱状を交付した。

多良間村は、少子高齢化が著しく進展し介護保険利用者も年々増加する傾向にあり、今後、中長期的な展望のもとに介護福祉施設の導入に向けた検討を行い高齢者福祉対策を講ずる必要がある。高齢者の福祉増進を図る目的に、多良間村介護福祉施設検討委員会を設置し、第1回委員会を開いた。

委員には、村内の関係機関や老人クラブ・婦人会代表ら委員10名に委嘱状が交付され、検討委員会会長に友利哲市氏が選任された。

離島支援事業で 血圧計を授与



去る7月23日宇塩川集落センターにおいて、高齢者に健康管理をやってもらう目的に、血圧計の無料貸し出しを行った。

来賓あいさつで伊良皆光夫村長は「わが国は世界で長寿国といわれている。多良間村も健康管理を怠らず、ひとり一人がガンジユウ村であることを目指していきたい」とあいさつした。贈呈式は県企画部地域離島課（田仲克尚課長）より贈呈があり、あいさつで「診療所や保健師と連携し情報交換し皆さんの健康を見守りたい」と述べた。

この日は、診療所の金城元気医師が高血圧について講演を行い、家庭で血圧測定を行うことで、診療所に来られるとき薬の出し方や診療法ができること話した。

これは県より、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」における「総合的離島振興策」の支援事業で、情報通信技術（ICT）を利用・活用によって離島在住の高齢高血圧者の健康意識や健康行動の変化、血圧や体重の変化、遠隔家庭とのコミュニケーション及び家庭の不安の改善、保健指導・質的な改善を検証することを目的として行う。



村職員退職及び人事について



▲永年勤続40年お疲れ様です。

☆勸奨退職

池間 常森

☆人事異動

翁長 艶子

（総務財政課税務係から
出納係へ）

下地 まり

（総務財政課行政係から
税務係へ）

☆新採用

垣花 志織

（総務財政課）

伊良皆 理奈

（教育委員会）

郷友会
紹介企画
第3回

在沖多良間郷友会

会長 亀川 博薫



会長
亀川 博薫

ごあいさつ

盛夏の候皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さとうきび農家の「エコファーマー」県内初の認定おめでとうございます。多良間島を環境にやさしい島創りに日々努力された結果が実を結んだものであると思います。敬意を表すると共に多良間村農業の御発展を祈念しお祝い申し上げます。

去る、5月18日在沖多良間郷友会第57回定期総会・敬老会は伊良皆光夫村長の激励・お祝いの御挨拶を戴き盛会裏に終わる事が出来ました。これもひとえに日頃よりの、皆様の在沖多良間郷友会への御理解と御協力の賜物であり感謝申し上げます。

さて、在沖多良間郷友会は、郷友の絆を深めるため、会員相互の親睦、相互扶助を目的に、1956年(昭和31年)12月8日

結成され今年57年目を迎え、現在650所帯約2500人の会



員で年間行事として、定期総会及び敬老会(5月ごろ)、新年会・成人・叙勲合同祝賀会(1月)、大運動会(11月)、グラウンドゴルフ等を行い、会員相互の親睦と交流を図っております。

また、沖縄宮古郷友連合会(在沖多良間郷友会及び宮古島市の各学区郷友会で組織)があり、総会、芸能祭、グラウンドゴルフ等のイベントを開催しており、それぞれに参加し宮古島市各郷友会との交流を行っております。

広報活動の一環として、在沖多良間郷友会報「たらまゆう」を年数



▲新高校生祝賀・激励会

回発行し、各種行事について会員への周知を図り、多くの会員の参加を呼び掛けるなどの活動を行っており、平成18年6月に、結成50周年記念祝賀会を行い、平成21年6月には、在沖多良間郷友会結成50周年記念誌「絆」の発行をしております。

在沖多良間郷友会では、多良間中学校卒業生の沖縄本島内高校合格者の祝賀・激励会を行い、多良間島出身の高校生・大学生の郷友会イベント等への参加を呼び掛け、一緒に楽しみ語り合う場を創り、相互の情報交換を行い、郷友会として出来る事は支援して行きたいと考えております。



▲運動会



▲敬老会

今後、親島「多良間」の素晴らしい歴史・文化と特化した郷友会活動を実施し、故郷「多良間島」と在沖多良間郷友会との交流を深め「絆」をより強くし

て参りたいと考えております。これまでにも増して皆様の御指導・御協力を賜ります様よろしくお願いいたします。

最後に、多良間島の限らない御発展と皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。



▲沖縄宮古郷友連合会総会

多良間村 認定農業者に交付

多良間村(伊良皆光夫村長)は、農業経営改善計画認定交付を去る6月に2人、7月に3人に交付を行いました。これはサトウキビや畜産・葉たばこ等の経営が主で、農業経営計画を提出し、多良間村担い手育成総合支援協議会の審査会で認定され認定証が交付されました。

認定農業者制度は、農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が自ら作成する農業経営改善計画(5年後の経営目標)を、市町村が基本構想にてらして認定し、その計画達成に向けて様々な支援措置を講じていこうとするものです。

同時に、農業者の方々には、認定を受けることで、誇りと意欲を持って経営の改善・発展に取り組む姿勢を内外にアピールし、経営者としての自覚を高めていくことを期待しています。

又、認定農業者になると次のようなメリットがあります。

■低利資金の融資

- ・経営に必要な短期運転資金
- ・機会・施設等の導入資金
- ・新技術作物導入・農産物の加工等資金

■税制の特例

- ・農業経営基盤強化準備金⇄5年以内に準備金を取り崩して固定資産を取得した場合に、圧縮記帳が可能。

■機械等導入・農地取得

- ・経営体育成支援事業(融資主体型補助事業)
⇄農業用機械・施設を導入する場合、融資残の自己負担部分に対し、取得額の10分の3までを上限として助成。

■農業者年金保険料の助成

- ・青色申告を行う認定農業者には通常保険料の上限額(月2万円)を下回る特例保険料を適用し、下限額との差(1万円～4千円)を助成。

9月は 農業委員 統一選挙です

人農地 次代につなぐ農委選

平成26年9月30日任期満了。
多良間村農業委員会委員選挙を
下記のとおり行います。

○投票日:平成26年9月21日(日)

○告示日:平成26年9月16日(火)

多良間村選挙管理委員会

委員長 豊見山 登

問い合わせ先
多良間村選挙管理委員会
(79-2048)

ふるさと納税 この島が好きだから

平成21年多良間村に「ふるさと納税」制度が始まって、村へのふるさと納税者第1号であった名古屋市在住の川地勝幸(マリンサービス経営)さんが、去る7月に多良間村を訪れ、金20万円を寄付した。10年来多良間島の海に魅せられダイビングや釣りを楽しんでいる。来島する度にふるさと納税をし、今回は「自然環境整備関係コース」への寄付となった。

この「ふるさと納税寄附金」制度が導入されたのは2008年度。多良間村にゆかりのある方、多良間村を「心のふるさと」と思っただけの方、に「ふるさと納税寄附金」を通じて多良間村を応援していただくものです。

寄付金の事業区分は次のとおり、①教育関係コース②産業振興関係コース③自然環境整備関係コース④村長にお任せコースがあり、複数選択可能!

※「ふるさと納税」寄付金についての詳細は、多良間村のホームページ「ふるさと応援寄附金」欄からクリックして下さい。

広報たらま
寄付金のお礼

羽地 玄誠様(沖縄県那覇市在) ありがとうございます。

2014年 海の日 ハーリー大会 in 多良間

竜宮の神に感謝



競技の結果は次のとおり。

★各区対抗レースの部

優勝 吉川区 (2分46秒)
準優勝 嶺間区 (2分51秒)

★職域対抗レースの部

優勝 宮古製糖多良間工場 (2分51秒)
準優勝 多良間中学校 (2分55秒)

★ビーチフラッグ

女子の部 濱中 美巳子
男子の部 湧川 農

2014年海の日ハーリー大会 (去る7月20日)、多良間村観光協会(富盛玄三会長)主催の「海の日ハーリー大会 in 多良間」が、仲泊海岸(ナカドウマリ)において2年ぶりに開催され盛り上がった。多くの村民や観光客らが参加して海の恩恵に感謝をし、観光振興と海の安全を願った。海の日、祝日ということもあり、子どもたちや観光客らの「体験ハーリー」やスイカ割り、又、初めてのこころみで「ビーチフラッグ」を競技に入れ観客を楽しませた。

爬竜船レースでは、各区・職域・団体対抗で競い合い400メートルのタイムトライアル方式で行われた。

特集

水納島

水納島

多良間島



▲宮国兄弟の朝は牛の健康管理から！

水納島は多良間島から北西約10キロメートル先にある周囲6.5キロメートルのさつまいもの形をした人口5人の島である。畜産業を営み母牛110頭飼育している。

水納島には、史跡として村指定文化財の水納御嶽、百合若伝説の鳥塚、水納御嶽遺跡などがあり、天然記念物の水納島バナリのミズガンピがある。



▲船の航海安全を守る灯台



▲黒木の古木



▲集落への入り口はテリハボクのトンネル



鳥塚は、集落の北西方、防潮林の中に古い石碑がある。碑には文字が書かれているようだが摩滅して解読し得ない。百合若伝説の石碑である。

水納島バナリは、東海岸50メートル隔てたリーフにあり、周囲約150メートルの隆起珊瑚群がある。その岩の上には祠があり、イムウプナカやタビウガン（航海安全祈願）にお祭りが行われる。又、幹の周り約40、50センチメートルのミズガンピが自生し、繁茂している。又、枝ぶりは見事で美観を呈している。

水納御嶽は、土原豊見親のおじに当たる「ミンナペーユヌス」を祭神としてまつる御嶽である。境内には福木、黒木、テリハボクなどが繁茂する美しい神域である。祭神「ミンナペーユヌス」は、土原豊見親時代に水納島を統治した業績のある人として、住民はその徳を崇敬して信仰は厚い。すべての年中行事はこの御嶽で住民が集まり行われる。

境内の後ろには、多良間島ではもうめったに見られない黒木の老樹が枝を交えて繁茂し、島の人々も神木として大事にしている。黒木はまわりが約150センチメートル、高さ約9メートルもの木がある。

水納御嶽は、史跡として昭和49年10月に村指定文化財に指定され、植物群落の天然記念物としても貴重である。

青年たーが バレー同好会結成!!



村には多くの青年たちが頑張っている。若者を活気づけようと、バレーボール同好会を結成した。年齢、職場、バレー経験の有無関係なく、男女問わずバレーが好きな人が集まって楽しく汗を流してほしい(現在15人で活動)。と、代表の大地明さんは呼びかけている。毎週、月・木の夕方7時から小学校体育館で活動しているので興味のある方はのぞいてみて下さい。

第49回

「少年ソフトボール大会」 大道子供会優勝

去る7月19日夏休みに入った初日、多良間村教育委員会(友利哲市教育長)主催による、第49回「少年ソフトボール大会」が多良間小学校グラウンドで行われた。



この大会は、ソフトボールを通して子どもたちの健康な体と強い心を育て、チームプレイの大切さを学びチームの連帯感を高めるために行われている。

早朝7時30分に開会式、8時からの試合開始となり、開会式で友利教育長は「今日の大会に向けて練習を頑張ってきたと思う。お互いチームプレイで助け合い楽しく頑張してほしい」とあいさつ。

7区の子供会チームが参加し元気いっぱいのプレイを楽しみ、暑さにも負けず頑張っていた。決勝戦は接戦となり昨年優勝の吉川区チームを大道区チームがサヨナラで優勝を果たした。

村長のたうけーむぬゆむ(ひとりごと)

小中児童生徒は7月19日から楽しい夏休みに入っている。40日余の長い休みである。夏休みの間には普段できない体験や学習など、有意義に過ごしてほしい。親御さんばかりでなく周りの大人は皆そう願っている。

私たちが小学生のころは、だぬき木(マルバチシヤノキ)の実が熟すと夏休みだ。といつてだぬき木の実が黄色に熟するのが待ち遠しかった。夏休みといっても今の子ども達のように旅行ができるわけでもないが、心から待ち遠しかった。

夏休みの期間中、朝の5時頃から馬の草を刈り、ほとんどが海であった。むつーべ(はぜの仲間)とりである。潮のひきははじめから潮が満ちるまでの、5〜6時間むつーべとりに熱中した。暑い太陽に照らされ、背中が夏休みの間に5〜7回はむけた。海のなかでは子どもながらも、いろいろな獲物と出会った。あかぶすあまん(カニの種類)を捕ったときは美味しいあまん(カニ)が食べられるとの思いから嬉しかった。にばり(ハタ)はモリで突いたがすてい釣い(つりの仕掛け)で捕るのも楽しみだった。食べ物はないのでお腹が空くと、んきふ(海ぶどう)やしゃこ貝を捕って食べた。むみんやま(ミノカサゴ)に兄が刺された時があった。毒でもがき苦しむ様には、自分も同じ苦しい思いであった。ときには子サメとも格闘し、大切なモリを折られた。ていふうなぎ(うなぎの種類)は砂地に生息している時々捕れた。うなぎの中では美味しかった。

むつーべを捕った量はうぶ縄の長さで測り勝負した。仲間同士誰が多く捕ったかの競争だった。むつーべは時には1斤10セントで売れた。そのお金でアイスクーキーが食べられるのが嬉しかった。

八月に入り雨がふー雨が降ると、今も昔もきび植え真つ盛りだ。当時はトラクター、耕耘機、ブルトラなど現代の利器はない。耕耘作業は馬の力が頼りだった。スキで掘り起こし整地を行い、うね上げもスキで行った。うね上げをしたら必ず堆肥を入れた。堆肥が足りない場合はぎんねむを刈り取り投入した。堆肥を担ぎうねに入れるのも、ぎんねむを刈り取り投入するのも子どもの仕事だった。大変な重労働だった。しかし、どこの家庭でも普通にこなしていた。それから覆土し、きび苗を配り一本一本へうで植えた。さとうきびの植え付け方にしても、今は様変わりした。機械による植え付けが大半だ。

夏休み期間中には、生活習慣が乱れやすいと聞く。家庭での手伝い、農業や牛の世話など家業を手伝うのも、こうした生活習慣の乱れを防ぐ一助になると思う。それだけでなく、家庭での手伝いや仕事を体験し習慣化すること、子ども達の将来に必ず役立つことになる。長い夏休み、子ども達にとって様々な体験や学習を通し、有意義で思い出になるような過ごし方を願うばかりである。



裁判員裁判の実施状況（全国統計～アンケート）

平成21年5月21日のスタートから、5年が経った『裁判員制度』。

平成25年12月までに6,060人の被告人に判決が言い渡され、34,896人の方が裁判員を経験されました。

*どんな事件で裁判員裁判が行われたの？

平成25年12月までに、強盗致傷事件（1,348人、22.2%）、殺人事件（1,342人、22.1%）、傷害致死事件（595人、9.8%）などの事件で裁判員裁判が行われました。

*どれくらいの人数がえらばれたの？

平成25年12月までに選任された裁判員数は34,896人、補充裁判員数は11,929人でした。

*何日くらい参加するの？

平成25年12月までに判決が言い渡された裁判員裁判の対象となった事件の多くが4日前後で終了しています。

*審理は難しくないの？

審理の内容については、62.2%の裁判員が「わかりやすかった」と回答しています。

*評議で議論できるかな？

評議については、72.3%の裁判員が「十分に議論できた」と回答しています。

*参加した感想は？

裁判員に選ばれる前は、「あまりやりたくなかった」又は「やりたくなかった」と回答された方が合計51.4%に上っていましたが、裁判員に参加した後は、合計95.3%の方が「非常によい経験と感じた」又は「よい経験と感じた」と回答しており、裁判員としての職務に従事して、充実感をもっていたことがうかがえます。

～裁判員制度をより詳しくお知りになりたい方へ～

裁判員制度

<http://www.saibanin.courts.go.jp/>

たらま島のむかし話④

多良間の井戸(カー)

仲筋字と塩川字に、人工の掘り井戸はたくさんあるけど、島で最初に掘った井戸は、ティラウエーキ井戸と、シュレー井戸である。これは国の予算で掘って下さったらしい。掘った人たちは、アンガマ家の豊見山良金さん、砂川蒲戸さん、西平伍平さん3人であった。当時は小さい斧でコツン、コツンと掘ったので、なかなかほかどりもしなかったであろう。長い月日がかかったのでしょうか。その後、集落のあちこちに掘り井戸が出来たさ。

しかし、シュレー井戸も、ティラウエーキ井戸も、最初の井戸であるし、幸いに村の真ん中に位置しているので、何万人もの人々を養ってくれただろう、有り難いことである。

この井戸が出来ない前は、塩川字はフシャトゥ井戸（自然井戸）と塩川井戸を、仲筋字はナガシ井戸とアマガー井戸の石段井戸を、朝夕女性たちは苦労して水くみをしていただろう。

新しい掘り井戸が出来てからは、夕方にもなれば、水をくむ女性たちが山をなし、足の踏み場も

なかったほどであった。水くみ女性たちは、新しい井戸が出来て、どれほどうれしかったのだろうか。

それでナガヤマ屋の下地春敷さんは、シュレー口説という歌を詠まれ、大変良い歌を作っている。紹介します。

首里屋口説（しゅれーくどうき）

1、恵みある世の印として

隅の島まで御恵の
誠ある世や有難や

いやいや、豊かなる世の

印さめひや、我した多良間の

島のはてまで、御恵たふち

嬉しいことさめ、な満のはやしに

口説読め、口説読め

2、首里川の成立ち千年の

十月吉日出来揚がて

民の嬉しや余りあり

いやいや、御主様から

御恵さしたる、御金のおかげの

井戸のたからや、やがてあるさめ

嬉しいものさめ、な満のはやしに

口説読め、口説読め

*現在島には井戸を掘った経験者がおられる。一つの井戸を掘るのに3ヶ月はかかったらしい

7月

世帯数と人口 (平成26年7月末現在)		
総世帯数	525 (-1)	
総人口	1,241 (-5)	
男	666	女 575
区別	人口	世帯数
土原	71 (-1)	32 (1)
天川	103 (-4)	45 (1)
津川	120 (-1)	55 (-1)
宮良	77 (-5)	31 (-1)
嶺間	152 (4)	65 (0)
大道	195 (-1)	90 (0)
木吉	304 (1)	117 (0)
水納	214 (-3)	86 (-1)
水納	5 (0)	4 (0)
出生	1	死亡 3
転入	1	転出 4

() 内は前月比

誕生 字塩川522番地 島袋 雅也・みどりさんの二女 ももこちゃん 平成26年7月11日
おくやみ 字塩川2097番地 垣花 昇一 平成26年7月7日 (61歳)
 字塩川58番地 東風平 利恵子 平成26年7月7日 (56歳)
 字塩川72番地 大城 トヨ 平成26年7月11日 (83歳)

緊急ダイヤル	
火災村消防 (79-2619) 119番	
警察官派出所 (79-2010) 110番	
急病人 (1) 多良間診療所 79-2101	
(2) 時間外 090-6862-6490	
(3) 役場住民福祉課 79-2623	
救急車要請 総務財政課(消防) 79-2619	
歯科診療所医師 79-2162	
停電 沖縄電力多良間営業所 79-2147	
断水 役場住民福祉課 79-2623	
家畜疾病 役場産業経済課 79-2503	
ガス専用JA多良間 090-6859-2355	

救急に関すること (7月)

◆時間外救急受付 19件

◆救急車出動 1件

◆ヘリ搬送 0件

救急車要請： 79-2619

急病人時間外： 090-6862-6490

消防設備士試験

- ☆ 試験 日：平成26年10月26日(日)
- ☆ 試験の種類：甲種(特類、第1類～第5類)、乙種(第1類～第7類)
- ☆ 願書受付時間：平成26年9月24日(水)～10月1日(水)
- ☆ 願書配布先：各消防本部予防課、沖縄県宮古事務所総務課
 沖縄県八重山事務所総務課、消防試験研究センター
 * 電子申請できます。ホームページをご覧ください。
 ホームページ：http://www.shoubo-shiken.or.jp
- 【お問合せ先】(一財)消防試験研究センター沖縄県支部
 TEL：098-941-5201



スイカ収穫

- 村立保育所 -

村立保育所(本村芳子所長)では、去る7月30日にスイカの収穫をした。保育所側のほ場で植えたスイカの苗が生長し収穫のはこびとなった。地域の農家、安里

三喜男さんが苗を提供し、保育所職員や保護者らが管理、大きな実を付けることができた。園児らはとりたてのスイカを口いっぱい美味しくいただいた。

☆夏休みに入り集落内では子供たちの遊ぶ姿が見える。帽子もかぶらず太陽の暑さはへっちゃらさという感じである。フクギの木陰でゲームをしている子もいる。夏休みの過ごし方はそれぞれである。

☆島の若者たちがバレーボール同好会を男女15人ほどで結成した。週2回汗を流し、若者の活気を盛り上げようという。娯楽がない島だから何かやらねば! いろんな集いがある中で出合いも生まれて来ると思う。

☆最近、県外からの方が多良間島の海中で結婚式を行った。パーティール泊施設「夢パティオ」の広場で行われ、島の青年たちも参加し太鼓を打ち鳴らし盛り上がりつつある様子。ちやうと遠巻きに見えた。(おめでとう)参加して取材できなかったのが残念!

☆島の基幹作物サトウキビの夏植えが始まった。これから暑さとの闘いである。水分補給はこまめに取り、熱中症にならないように!

☆9月1日から3日間は恒例の八月おどりである。県外からも多くの方が来島されるということである。晴天を願い村民皆で祭りを楽しみたい。

☆次号郷友会の記事は関西在郷友会の紹介です。

編集後記

てるけん

防災
一口メモ

台風シーズンに備えよう

～気象情報を活用して早め早めの台風対策をしましょう～

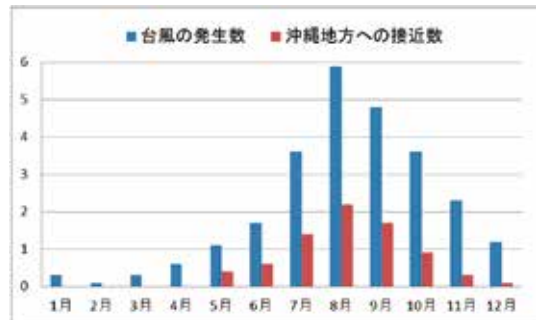


8月～9月は台風の発生数・接近数が多くなります

熱帯や亜熱帯の海洋上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち北西太平洋で発達して最大風速が34ノット（約17m/s）以上になったものを「台風」と呼びます。

台風は一年間に平均して25～26個発生し、このうち11～12個が日本に接近、沖縄地方には平均で7～8個の台風が接近しています。

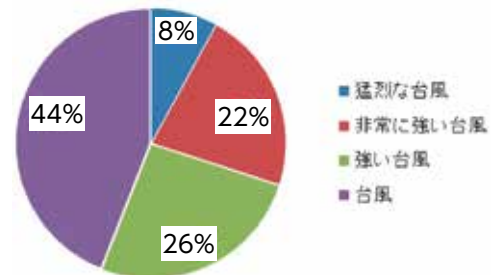
台風の発生数・接近数とも8月から9月が特に多く、本格的な台風シーズン到来となりますので、台風への備えを十分に行う必要があります。



台風の強さと最大風速

台風の強さ	最大風速
猛烈な	54m/s 以上
非常に強い	44m/s 以上～54m/s 未満
強い	33m/s 以上～44m/s 未満

台風の強さは、その最大風速により上の表のように決めています。また、その発生割合は右図のとおりです。



強さ別の台風の発生割合（1981-2010年）

気象情報を活用して早め早めの台風対策をお願いします

気象台では台風が宮古島地方に接近するおそれがある場合、台風の位置や進路予想、防災上の注意・警戒事項などを台風情報として発表しています。また、台風の接近に伴い注意報や警報を随時発表して、注意・警戒を呼びかけています。これらの台風情報・注意報・警報を活用して早め早めの台風対策をお願いします。

また、中心気圧910hPa以下又は最大風速60m/s以上の猛烈な台風の襲来が予想される場合には、特別警報を発表して最大限の警戒を呼びかけます。過去の例では、猛烈な台風がかなり接近した場合には甚大な被害となっていますので、**特別警報が発表されるような場合には不要・不急の外出は控え、身の安全確保をしていただくようお願いします。（住宅内で家族の身の安全を確保して下さい。）**

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL：0980-72-3054（平日のみ／8:30～17:15）